

令和 6 年度

北空知地域医療介護確保推進協議会

第 1 回会議 議案

医療や介護が必要になっても
住みなれた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。
～その想いをかなえるために支援を行います～



令和 6 年 7 月 1 日

深川市立病院 2 階会議室

目 次

1. 北空知地域医療介護確保推進協議会	1 - 1
2. 北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議	1 - 3
3. I 医療介護相談・在宅生活支援部会	1 - 1 1
4. II 多職種連携・地域啓発部会	1 - 2 2
5. 令和5年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 (地域医療・介護連携推進事業)決算 令和5年度地域リハビリテーション活動支援事業 決算	1 - 3 4
6. 令和6年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 (地域医療・介護連携推進事業)予算(案) 令和6年度地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)	1 - 3 5
7. 令和5年度北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧	1 - 3 6

令和6年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 第1回会議議案

北空知地域医療介護確保推進協議会

○設置目的

北空知1市4町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町）間で、平成28年3月18日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体で構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置する。

○協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (1) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (2) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (3) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (4) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (5) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

《令和5年度事業報告》

1. 開催計画

- ・協議会の定期開催は6月（今回は7月）を予定し、その他必要に応じて開催することとした。

2. 開催状況

○第1回会議 令和5年7月3日（月） 深川市立病院 2階 会議室
参加者 協議会委員11名

・協議・確認事項

- (1) 令和4年度事業報告及び決算報告、令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (2) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (3) 深川市立病院新改革プラン実施状況に関する点検・評価報告書 及び
深川市立病院経営強化プランの策定について
- (4) その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2、3年度は書面会議、令和4年度はオンライン会議で開催されたが、今回は令和元年以来の集合形式により協議・確認事項は運営会議・事務局提案どおり、参加委員全員によって承認された。

3. 協議会構成員（令和5年4月～令和6年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	田 中 昌 幸	
副会長	深川医師会会長	松 本 三 樹	吉本病院院長
委 員	妹背牛町長	田 中 一 典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐 野 豊 ↓ 佐々木 康 宏	R 6. 2交代
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	久 保 憲 昭	
	深川市立病院長	新 居 利 英	
	深川地区消防組合消防長	高 直 樹	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1 の団体の代表の委員は2年任期（令和4年度～令和5年度）

《令和6年度事業計画》

1. 令和6年度事業計画

・協議会の定期開催は6月（又は7月）を予定し、その他必要に応じて開催する。

2. 協議会構成員（令和6年4月～令和7年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	田 中 昌 幸	
副会長	深川医師会会長	三木田 光	みきた整形外科クリニック院長
委 員	妹背牛町長	田 中 一 典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐々木 康 宏	
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	福 島 亨	
	深川市立病院長	新 居 利 英	
	深川地区消防組合消防長	須 田 俊 之	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1 の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

○設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

○協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (6) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (7) 認知症対策事業の検討
- (8) 医療・福祉・介護人材の確保の検討
- (9) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (10) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (11) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (12) 専門部会の連絡調整

《令和5年度事業報告》

1. 令和5年度事業計画

- ・令和4年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ①在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
 - ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
 - ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
- ②休日・夜間救急医療体制の維持・確保
 - ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
 - ・救急あんしんカードのICT活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
- ③医療・福祉・介護人材の確保
 - ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
 - ・人材確保に対する実行性のある具体的対策は難しい面があるが、外国人雇用している事業所での就業状況の発信や、将来の担い手を育てるため児童・生徒等に向けた取り組みを検討する
- ④新型コロナウイルス感染症への対応
 - ・今後の5類移行へ向け他の感染症も含めた平時の対応について研修会を開催する。

2. 関係会議等開催状況

○第1回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議

令和5年4月17日（月）14:00～15:00 Zoom利用会議

出席者7名（プロジェクトチームメンバー、運営会議事務局員）

・協議・確認事項

（1）令和5年度「新型コロナウイルス感染症対策研修会」について

- ・日程、対象者、実施方法、周知方法、内容について協議。保健所から情報提供し、コロナの5類移行後の疑問点や質問を、出欠報告の際に事前に聞き取り情報提供で回答する。また、グループワークで事業所同士の情報共有ができるようにする。開催方法は集合形式で行うこととした。

○第1回正副座長・部会長等会議（Web）

令和5年5月12日（金）～16日（火）きたそらりんく利用会議

5月16日（火）10:00～10:46 Zoom利用会議

出席者11名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等）

- ・人事異動等により役員等が交代したため、今年度の事業を始動させるにあたり、令和4年度事業報告・令和5年度事業計画（案）等についての内容等を確認し令和5年度の各会議体の構成、事業の年間スケジュールの調整、運営会議の重点協議事項について協議した。
- ・協議会本体会議の開催方法について、令和元年度以来の集合形式開催とすることを協議した。

○第2回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議

令和5年5月19日（金）10:00～ Zoom利用会議

出席者7名（プロジェクトチームメンバー、運営会議事務局員）

・協議・確認事項

（1）令和5年度「新型コロナウイルス感染症対策研修会」について

- ・調整の結果、令和5年5月26日18:00～19:30にラ・カンパーニュホテル深川で行うことになった研修会について、当日の進行要領や役割分担について協議し、開催要項やアンケート等の配布物の内容を確認した。

○第1回運営会議（Web）

令和5年5月29日（月）～2日（金）きたそらりんく利用会議

6月2日（金）10:00～10:58 Zoom利用会議

出席者 運営会議委員21名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

・協議・確認事項

（1）北空知地域医療介護確保推進協議会の議案について

- ・令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画（案）・予算（案）、事業報告説明資料

（2）休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について

（3）北空知地域医療介護確保推進協議会の開催について

（4）その他

※前段に「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」の規定に基づき座長と副座長の互選を行い会議進行した

○第3回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議

令和5年8月1日（火）14:00～ 深川市健康福祉センター

出席者10名（プロジェクトチームメンバー、運営会議事務局員）

・協議・確認事項

（1）令和5年度「新型コロナウイルス感染症対策研修会」の結果について

- ・参加者77名中、アンケート回答58名の内容について協議した。グループワークによる各施設での対応方法が話し合え有意義であったとの声や、5類移行後もコロナ以外の感染症に関する研修を求める意見があった。

（2）今後の北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチームについて

・感染症対策は今後も継続して必要だが、法の位置づけが変更となったことと、プロジェクトチームとしての所期の目的は達成してきていることを踏まえ「北空知新型コロナウイルス感染症対策支援班」の派遣廃止を協議した。 ・今後も深川保健所、深川市立病院、揺籃会が相談・助言対応を連携して行うことを確認した。
○第2回運営会議（Web） 令和5年10月30日（月）～10月31日（火）きたそらりんく利用会議 10月31日（火）14:00～14:33 Zoom利用会議 出席者 運営会議委員20名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長） ・協議・確認事項 （1）今年度事業の進捗状況と今後の進め方について ・各専門部会・小部会、運営会議、事業見直しを行った結果に基づき設定した課題や計画についてそれぞれの活動状況と今後の事業運営について協議 （2）新型コロナウイルス感染症対策について ・令和3年11月4日に設置した「北空知新型コロナウイルス感染症対策支援班」を法の位置づけ変更及び所期の設置目的を達成したものと判断し派遣廃止することとした。運営会議での報告後、同日開催される北空知1市4町介護福祉施設担当課長会議で報告・通知することとした。 ・協議会各種事業における感染症対策として、会議についてはオンライン、研修会は集合を基本としながら状況に応じてオンラインと集合形式に切り替える対応とすることを基本方針とした
○第1回地域医療・介護連携推進事業担当課長会議 令和5年10月31日（火）14:33～14:41 Zoom利用会議 出席者9名（1市4町担当課長等） ・協議・確認事項 （1）令和6年度北空知地域医療・介護連携支援センター事業委託料（案）について （2）令和6年度北空知地域リハビリテーション事業委託料（案）について （3）北空知新型コロナウイルス感染症対策支援班の廃止について ※各市町の次年度予算に要求する協議会事業の委託料（案）を協議するとともに、上記運営会議で協議した「北空知新型コロナウイルス感染症対策支援班」の派遣廃止について通知し了承を得た。
○第2回正副座長・部会長等会議 令和6年2月16日（金）～19日（月）きたそらりんく利用会議 2月19日（月）11:00～11:24 Zoom利用会議 出席者11名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員） （1）今年度事業のまとめと次年度の取組について ・本年度の各部会での取り組み状況の報告と、次年度の計画について、実施予定の研修会や、具体的な取り組み内容について協議未了の部分は各小部会で確認することとした ・2～3月にかけて専門部会、運営会議を行い、本年度事業の実施報告と次年度計画、予算決算について協議し次年度の本体協議会へ諮る準備を行うこととした （2）研修等事業の開催方法について ・単なる省略ではなく連携が可能な場合は部会・小部会で合同研修会開催を引き続き検討していく、研修事業の内容が重複等する場合は共催とするなどの方法について協議した。 （3）北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議及び北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチームの解散について ・令和5年10月31日開催の運営会議及び1市4町担当課長会議で支援班の廃止を決定したが、連絡会議についても解散することを運営会議に諮ることとした
○第3回運営会議（Web） 令和6年3月19日（火）～25日（月）きたそらりんく利用会議 3月25日（月）11:00～11:28 Zoom利用会議 出席者19名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

・協議・確認事項

- (1) 今年度事業のまとめと次年度の取組について
 - ・各専門部会・小部会、運営会議における今年度の取り組みの総括と次年度計画案について協議。
- (2) 次年度の始動スケジュールについて
 - ・各会議体委員に人事異動等による変更がある場合の連絡を依頼。
 - ・次年度の協議開始時期及び、令和6年度の本体協議会及び運営会議の日程について協議。

○新型コロナウイルス感染症対策研修会

令和5年5月26日（金） 18:00～19:30 ラ・カンパーニュホテル深川

・主催：北空知地域医療介護確保推進協議会

- ・出席者77名 北空知地域保健・医療・福祉・介護関係者
(感染症対策担当者・施設内リーダー・実働職員等)

・研修内容

- (1) 情報提供「今後の北空知の施設・事業所における新型コロナウイルス感染症対策等について」
情報提供者：北海道空知総合振興局保健環境部深川地域保健室
健康推進課健康支援係長 近藤 望 氏

- (2) 意見交換

【情報提供から】

- ・発生から3年経過し5月8日から感染法上の位置づけが変更されることに伴い、現状の知見や国の方針を再確認し、今後の対応を構築していくための情報提供をいただいた
- ・内容は、1. 北空知管内の発生状況、2. 新型コロナウイルス感染症の特性と感染対策の基礎知識、3. 5類移行後の感染対策の考え方（参考例）の3部構成
- ・第7波～第8波における北空知管内の状況は、複数のクラスターが同時発生し、大規模な施設や医療機関では、100人以上の感染者数となった施設もあり、死亡者数も多かったこと、GHなど配置医や嘱託医がいない施設において、病状悪化時の医療調整が困難だった。職員の感染率が高く対策期間が長期化した施設では、運営継続に苦慮されていた
- ・最も重要なことは標準予防策の徹底（手指衛生、PPEの選択、呼吸器衛生、環境整備など）
- ・感染症にも対応しうる地域包括ケアシステムの再構築、・感染症も含めた医療連携・入退院調整の円滑化、・健康危機発生時の応援・受援体制強化（→平常時の体制整備が重要、→施設・医療機関を孤立させないサポート体制や日頃のネットワークづくり） などが必要

【アンケート回答から】

- ・他施設の面会の考え方がとても参考になった
- ・クラスターを経験している事業所としていない事業所の差が大きなものになってきていると感じた
- ・个人防护服を着る習慣は定期的に行い意識づけが必要
- ・認知症の方への対応、声のかけ方、根気強く関わっていくことの大切さ、スタッフ間での共通意識を持つことの大切さを改めて学ぶことができた
- ・だんだん慣れが出てくるので時々こうしたセミナーに参加したい
- ・コロナウイルス以外の感染症対応について知識を深めたい
- ・5類に移行したばかりだが、今後コロナの状況で新たに見えてくる課題など共有してほしい
- ・各施設の方と交流でき、とても意義のある時間を過ごすことができた

3. 事業の進捗状況

①在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
- ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
⇒ 具体的な課題の検討には至らなかった。

②休日・夜間救急医療体制の維持・確保

- ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
- ・救急あんしんカードの ICT 活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
⇒ 救急あんしんカードへの DNAR 同意書同梱について担当小部会（在宅生活支援小部会）で委員意見をいただいた。慎重な取り扱いや具体的対応の指針などが必要との意見があった。

③医療・福祉・介護人材の確保

- ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
- ・人材確保に対する実行性のある具体的対策は難しい面があるが、外国人雇用している事業所での就業状況の発信や、将来の担い手を育てるため児童・生徒等に向けた取り組みを検討する
⇒ R5. 10 北海道介護福祉学校から資料提供（学生の課程に連動した特別講義や出前講座を行っている）があり、今後協議会で人材確保の方策を検討していく上で同校と連携し児童・生徒を対象とした取り組みを検討・協議していくこととした。

④新型コロナウイルス感染症への対応

- ・今後の5類移行へ向け他の感染症も含めた平時の対応について研修会を開催する。
⇒ 令和5年5月26日令和5年度新型コロナウイルス感染症対策研修会を集合形式で開催し77名の参加があった。
- ⇒ 当日は深川保健所近藤係長より「今後の北空知の施設・事業所における新型コロナウイルス感染症対策等について」情報提供をいただき、各事業所で5類移行後にどのような対応をしているか意見交換を行った。

4. 運営会議構成員（令和5年4月～令和6年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	黒 田 隆 之	
副座長	深川保健所次長	住 友 義 昭 ↓ 平 井 直 子	R 5. 6 交代
委 員	深川医師会事務次長 ↓ 深川医師会事務長	吉 田 博 昭	R 5. 7 変更
	深川市立病院事務部長	高 田 光 徳	
	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆ み	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町住民課長	細 川 直 洋	
	沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀 ↓ 按 田 義 輝	R 5. 7 変更
	深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵	

※1 の団体の代表の委員は2年任期（令和4年度～令和5年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	副センター長
医療介護連携	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	事務局長
支援センター	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	事務局員

	深川市立病院地域連携室地域連携係長	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課主幹	高 崎 宣 美	※1
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長 ↓	小鍛冶 真由美	※1 R 5. 1 0 機構改革
	深川市高齢者支援課相談サービス係長		
	深川市健康・子ども課障がい福祉係長 ↓ (選出中)	畑 山 賢 明 ↓ (選出中)	※1 R 5. 1 0 機構改革

※1の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和5年度～令和7年度）

《北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議構成員》

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川保健所次長	住 友 義 昭 ↓ 平 井 直 子	R 5. 6 交代
委 員	深川市高齢者支援課長	黒 田 隆 之	
	深川医師会事務次長 ↓ 深川医師会事務長	吉 田 博 昭	R 5. 7 変更
	深川市立病院事務部長	高 田 光 徳	
	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆ み	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町住民課長	細 川 直 洋	
	沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀 ↓ 按 田 義 輝	R 5. 7 変更
	深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵	

※令和2年度第2回運営会議（10月1日開催）で設置を決定し設置期間は10月から当面の間としていたが、所期の目的を達成したものととして令和6年3月25日開催の運営会議でプロジェクトチームとともに解散を決定。

《北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム構成員》

役 職	所属団体・役職等	氏 名	備 考
座 長	深川保健所健康推進課長	森 下 恵 子	
委 員	社会福祉法人揺籃会法人本部長	造 田 裕 普	
	沼田町特別養護老人ホーム旭寿園園長	荒 川 幸 太	
	妹背牛町介護老人保健施設りぶれ事務長	村 上 功	
	深川市立病院医療安全管理室副室長	齋 藤 昌 昭	
	深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵	
	深川市高齢者支援課主幹	高 崎 宣 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長 ↓	小鍛冶 真由美	R 5. 1 0 機構改革
	深川市高齢者支援課相談サービス係長		

※事務局は深川市が担当

《令和6年度事業計画》

1. 令和6年度事業計画

- ・令和4年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ①在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
 - ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
 - ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
- ②休日・夜間救急医療体制の維持・確保
 - ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
 - ・救急あんしんカードのICT活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
- ③医療・福祉・介護人材の確保
 - ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
 - ・人材確保に対する実行性のある具体的対策は難しい面があるが、外国人雇用している事業所での就業状況の発信や、将来の担い手を育てるため児童・生徒等に向けた取り組みについて北海道介護福祉学校等との連携を検討する
- ④新型コロナウイルス感染症等への対応
 - ・新型コロナウイルス感染症及び他の感染症も含めた平時の対応について必要に応じて研修会等を開催する。

2. 運営会議構成員（令和6年4月～令和7年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	北 垣 千 絵	
副座長	深川保健所次長	平 井 直 子	
委 員	深川医師会事務長	吉 田 博 昭	
	深川市立病院事務部長	高 田 光 徳	
	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆ み	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町住民課長	細 川 直 洋	
	沼田町保健福祉課長	按 田 義 輝	
	深川市健康・子ども課長	小 川 雅 嗣	

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	副センター長
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	事務局長
	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課主幹	西 村 美 幸	※1
	深川市高齢者支援課相談サービス係長	小鍛冶 真由美	※1
	深川市健康・子ども課健康推進係主査	竹 内 豪 志	※1

※1の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和5年度～令和7年度）

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
5 月 日	正副座長・部会長等 会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和6年度事業計画の協議・ 調整（事業の実施時期調整）
6 月 日	第1回運営会議	令和6年度協議会議案の協議 協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議ほか
6（7）月 日	第1回協議会	令和5年度事業報告・決算報告、 令和6年度事業計画（案）・予算（案）の協議ほか
月 日	第2回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第3回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第4回運営会議	重点課題の協議ほか 令和6年度事業のまとめと令和7年度の取組の協議

※必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整する。

I 医療介護相談・在宅生活支援部会

○医療介護相談・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

- 急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討
- 在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営
- ②医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付・対応
(地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。)
- ③退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

《令和5年度事業報告》

1. 令和5年度事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)

(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

(認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネート業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席 (共通課題の抽出)
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 関係会議等開催状況

○これまでの経過 (感染対策、利便性) から専門部会・小部会は、基本的にオンライン開催とし、協議内容や感染対策状況に応じて集合形式も検討し開催。

○第1回部会 (Web)

令和5年6月22日 (木) ~ 27日 (火) きたそらりんく利用会議

6月27日 (火) 17:30~17:55 Zoom利用会議

出席者16名 (部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 令和4年度事業報告 (進捗状況) の確認について
- (2) 令和5年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (3) 小部会・会議の構成 (案) について

(4) 今後の予定

※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。令和4年度に見直しを行った結果、今年度も「医療介護相談支援小部会」「在宅生活支援小部会」の2小部会を設置し事業に取り組むこととなり、部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

○第2回部会 (Web)

令和6年3月13日(水)～18日(月) きたそらりんく利用会議

18日(月) 17:33～17:44 Zoom利用会議

出席者22名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 令和5年度事業の振り返り・評価について
- (2) 令和6年度の事業計画及び年間スケジュールについて

○第1回医療介護相談支援小部会 (Web)

令和5年6月22日(木)～27日(火) きたそらりんく利用会議

6月27日(火) 18:00～18:43 Zoom利用会議

出席者10名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 前年度の協議経過及び令和5年度の活動について
 - ・入退院支援研修会は年1回、秋頃を目指し開催。基本は集合形式で状況に応じてオンラインに切り替える準備もしておく
 - ・テーマは過去の開催経過を踏まえ検討
 - ・北空知地域入退院支援・調整ルールの周知と利用状況の把握・評価の方法は調査対象や調査項目などの具体的な内容は次回以降に検討するなどを協議した。
- (2) 今後のスケジュール
 - ・今後の年間スケジュールと、小部会の開催方法や時間は、委員意見を踏まえ実施することを協議した。

○第2回医療介護相談支援小部会 (Web)

令和5年7月25日(火)～27日(木) きたそらりんく利用会議

7月27日(木) 17:30～19:02 Zoom利用会議

出席者11名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 入退院支援研修会の開催内容について
 - ・実施時期は11月中旬とし前回協議のとおり集合形式を基本とするが、協議会としての統一対応を運営会議で確認する
 - ・テーマは在宅に向けてどのように「北空知地域入退院支援・調整ルール」(退院支援情報)を活用していくのか、という実践を行えるような架空事例とする
 - ・多職種連携支援小部会との合同開催は趣旨の違いがあるため実施しない
- (2) 北空知地域入退院支援・調整ルールの周知と利用状況の把握・評価について
 - ・前回調査以降の取り組みを踏まえ次年度(令和6年度)実施する

○第3回医療介護相談支援小部会 (Web)

令和5年10月13日(金)～17日(火) きたそらりんく利用会議

10月17日(火) 17:30～18:40 Zoom利用会議

出席者12名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 入退院支援研修会の開催内容について ・実施時期は12月中旬で再調整し、実施時間や配分は前回同様とする、当日配布資料の確認や、役割分担を協議した。
○第4回医療介護相談支援小部会 (Web) 令和5年11月 6日(月)～ 7日(火) きたそらりんく利用会議 11月 7日(火) 17:30～18:33 Zoom利用会議 出席者13名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 入退院支援研修会の実施内容について ・開催日を12月14日(木)に設定し、全体進行役や未決定部分、その他事例やアンケート内容の詳細について協議 ・全体進行役やファシリテーター等の要望があれば事前演習を行うこととした
○第5回医療介護相談支援小部会 (Web) 令和5年12月 7日(木) 17:30～18:11 Zoom利用会議 出席者12名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 入退院支援研修会の実施確認について ・今回の小部会は省略予定だったが、参加申込締切時点で15名と低調だったため、開催の可否を判断していただくため開催。その後48名に増加したため開催方法等を確認した。 ・インフルエンザ流行を勘案しZoom開催に変更 ・参加申込者へ開催方法変更を案内し参加意向と同一端末複数参加の再確認を行う
○第6回医療介護相談支援小部会 (Web) 令和6年2月2日(金)～2月6日(火) きたそらりんく利用会議 2月6日(火) 17:30～18:07 Zoom利用会議 出席者10名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 入退院支援研修会の実施結果について ・アンケート結果を踏まえ実施結果について委員意見を踏まえ○△×で評価。準備等に関しては概ね○の評価となったが、参加者のグループワークをとおした検討方法は課題があると感じた委員が多く今後検討が必要。 (2) 本年度事業の実績及び次年度計画 ・本年度事業の実績は本日の協議結果を親部会へ報告 ・次年度事業については今後の小部会で協議(概ねのスケジュールのみ次回協議予定)
○第7回医療介護相談支援小部会 (Web) 令和6年3月13日(水)～18日(月) きたそらりんく利用会議 18日(月) 部会終了後17:45～17:58 Zoom利用会議 出席者12名(小部会メンバー) ・協議・確認事項 (1) 本年度事業の実績及び次年度計画について ・令和6年度入退院支援研修会は1回の開催とする ・地域ケア会議参加による地域課題の抽出結果を受けこれを元に研修会を検討する ・入退院支援調整ルールは、もう少し運用してから見直しの検討をする ・令和6年度にルールの普及啓発を兼ね入退院支援に係る実態調査を行うなどを協議した。

○第1回在宅生活支援小部会（Web）

令和5年6月22日（木）～27日（火）きたそらりんく利用会議

6月27日（火）18:00～18:16 Zoom利用会議

出席者6名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）前年度の協議経過について

- ・認知症施策については、アンケート結果を踏まえ次年度の新体制で改めて具体的取り組みを協議していく
- ・認知症初期集中支援事業の立て直しや多職種連携などの委員意見を踏まえた対応も検討
- ・認知症施策は障がいや虐待等様々な要素が絡んでくるので、内容によってはこの小部会だけでなく他部会と連携して検討していくべきではないか

等の昨年度までの協議経過を説明

（2）令和5年度の活動について

- ・きたそらりんく運用ルール等の周知・検証（一定期間運用後、ワーキンググループによる検証を行う）
- ・認知症初期集中支援事業のあり方の見直し（支援の流れ、多職種連携）
- ・認知症施策アンケートから抽出された課題の具体的な対応を協議などについて協議した。

（3）今後のスケジュール

- ・今後の年間スケジュールと、小部会の開催方法や時間は、委員意見を踏まえ実施することを協議した。

○第2回在宅生活支援小部会（Web）

令和5年8月1日（火）～4日（金）きたそらりんく利用会議

8月4日（金）17:30～18:37 Zoom利用会議

出席者11名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）令和5年度の活動について

- ・認知症初期集中支援事業のあり方の見直し（支援の流れ、多職種連携）を検討するため、深川市高齢者支援課地域包括支援係立川氏に参加いただき、多職種で判断する場面があるとよいということ（支援の流れ）、初期集中支援チームメンバーに最初から作業療法士、介護福祉士、看護師、栄養士などの専門職で検討するのが良いのではということ（多職種連携）の提案があった。

⇒市町事業のため協議会でどこまで取り組めるかを含め、今回は情報共有にとどめることとした。

- ・認知症施策アンケートから抽出された課題の具体的な対応を協議。協議会に取り組んで欲しいこととして挙げられていたのが本人家族の理解を深める研修会、次に予防・進行遅らせる生活習慣やトレーニング方法の紹介、権利擁護の普及啓発、支援制度紹介。
- ・今年度の事業としては委員意見から小規模の話し合いの場や関係者のスキルアップにつながる研修会を検討することとした。

○第3回在宅生活支援小部会（Web）

令和5年10月13日（金）～16日（月）きたそらりんく利用会議

10月16日（月）17:30～18:09 Zoom利用会議

出席者9名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）令和5年度の活動について

- ・関係者のスキルアップに繋がる研修会等実施について年度内（～2月）とし、開催方法は集合形式。素案ができ次第次回小部会で詳細を協議することとした。

○在宅生活支援小部会事業打合せ（Web）

令和5年12月14日（金）10:00～10:24 Zoom利用会議
出席者4名（北竜町委員、支援センター事務局員）

・協議・確認事項

（1）認知症スキルアップ研修会の開催内容について

- ・実施内容の概要素案（集合形式、認知症認定看護師から講話、参加者から事前に事例を募り当日検討、など）
- ・参加対象者の選定
- ・実施時期と時間帯、アンケート実施

○第4回在宅生活支援小部会（Web）

令和6年 1月12日（金）～18日（木）きたそらりんく利用会議

1月18日（木）17:30～18:07 Zoom利用会議

出席者10名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）認知症スキルアップ研修会の開催内容について

- ・令和6年2月16日（金）10:00～11:30で日程決定
- ・案内は地域包括職員及び小部会委員と市立病院リハビリテーション課職員にも案内
- ・終了後簡単なアンケートを実施する
- ・次回小部会は令和5年度事業実績報告、令和6年度事業計画を協議。2月中に親部会と同時開催予定
- ・市立病院内で救急あんしんカードケースへのDNAR指示書同梱をしてはという提案があり、このことについて次回小部会までに委員意見を集約することとした

○第5回在宅生活支援小部会（Web）

令和6年3月13日（水）～18日（月）きたそらりんく利用会議

18日（月）部会終了後17:45～18:03 Zoom利用会議

出席者10名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）認知症スキルアップ研修会の開催結果・評価について

- ・認知症スキルアップ研修会開催結果は資料のとおり承認

（2）救急あんしんカードケースへのDNAR指示書同梱について

- ・救急あんしんカードケースへのDNAR指示書同梱については、今回いただいた意見を市立病院看護部へ投げかけ、今後の対応については保留

（3）本年度事業の実績及び次年度計画について

- ・次年度の取り組みは認知症スキルアップ研修会の結果などを踏まえ次年度協議しすすめていく
 - ・今後、きたそらりんくとは別の医療介護情報共有ICTツールのデモを受け、情報共有し協議していく
- などを協議した。

○北空知地域入退院支援研修会オンライン開催

令和5年12月14日（木）18:00～19:33

出席者40名（歯科医師1名、看護師15名、保健師5名、介護支援専門員7名、MSW・SW・相談員3名、精神保健福祉士1名、社会福祉士3名、管理栄養士1名、作業療法士1名、薬剤師1名、行政職2名）

・研修内容

（1）事例紹介「腰椎圧迫骨折で入院し、在宅復帰予定の患者への支援」

説明 深川市高齢者支援課 小鍛治 真由美 相談サービス係長

（2）事例検討 全8グループ 1グループ4～5名でグループワークを実施

- ・テーマ 【退院へ向ける時期】【退院の見込みがいたら】退院に向けた情報共有について

北空知地域入退院支援・調整ルール」に定められている上記項目においてどのように情報共有していくかそれぞれ職種の立場で検討・情報交換した

(3) 全体共有 グループワークで検討したことを各グループから発表（全グループ発表できた）

※当初集合形式を予定していたが、インフルエンザ流行により急遽オンライン開催に切り替え実施した。参加者の満足は高く、アンケートには「早めの情報提供と今後の方向性について確認し合うなど、連携の大切さを改めて思った」「多職種で検討するとその職種が知りたいことを聞けるので大変勉強になった」などの感想が寄せられていたが、「グループワークからいきなり本人・家族の思いに沿った支援が検討できたかは評価できない」や「調整ルールから得られた情報に不足がある」など今後の検討課題も見えてきた。

○認知症スキルアップ研修会開催

令和6年2月16日（金）10:00～11:30

出席者16名（北空知1市4町地域包括支援センター職員、医療介護相談・在宅生活支援部会委員（在宅生活支援小部会）、地域リハビリテーション活動支援事業担当者（深川市立病院作業療法士））

・研修内容

(1) 講演「認知症認定看護師の役割について」

講師 深川市立病院 認知症認定看護師 前川凡子

(2) 意見交換会

・認知症ケアに関わる取り組みについて学び、認知症ケアに関わる専門職が日頃の困難事例への対応について情報共有し検討する機会とする検討・情報交換した

※意見交換では、認知症状があるにもかかわらず受診につながらない、年相応と医師に言われて妙に自信がついてしまいサービス等に繋がらない、サービス拒否の強い（怒り出す）ケースへの対応など、実際の具体例に対して認定看護師の立場からのアドバイスや、リハビリテーションを行う作業療法士からのアプローチについて話し合いを深めることができた

3. 事業の進捗状況

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

（参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討）

（意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討）

⇒ 12月に集合形式で開催を計画していた研修会は、インフルエンザの流行状況から急遽オンライン開催に切り替え実施した。今回も架空の事例を参加者の自由な発想で支援方法を検討した。

⇒ 1月19日北海道自治体病院協議会連携部会主催の「地域連携システム推進会議」（札幌市）に協議会から1名（地域連携室）が参加した。1月26日厚生労働省主催の「第171回市町村セミナー 在宅医療に必要な連携を担う拠点と在宅医療・介護連携推進事業との連携について」（ZOOM）に協議会から代表1名（地域連携室）が参加した。2月11日北海道医師会主催「医療・介護連携勉強会」（ZOOM）に協議会から1名（地域連携室）が参加した。

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

（認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み）

⇒ 今年度は事例共有検討会ではなく関係者のスキルアップ研修会として認知症認定看護師を講師に招き小規模な相談の場を設けた。また、認知症初期集中支援事業の流れと多職種連携については深川市地域包括職員から提案を受け小部会で情報提供した。

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

⇒ 令和2年から運用を開始した「きたそらりんく」の利用登録促進と、患者・サービス利用者に対する多職種支援、情報共有や会議など多様な利活用継続して取り組んだ。

令和4年度に具体的な運用ルールを定めたが、一定期間運用後、検証をすることとしている。

⇒ 「北空知地域入退院支援・調整ルール」の周知を兼ね入退院支援研修会を12月にオンライン開

催した。

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

- ⇒ 市立病院地域連携室内に、下記「令和5年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制」のとおり組織を設置し運営にあたった。
- ⇒ ホームページ、きたそらりんく、パンフレットなどで周知するとともに、各市町の地域包括支援センター、各事業所等を通じて周知に努めた。

②相談コーディネート業務の充実

- ⇒ 新型コロナウイルスは法令上の扱いが変更となったが、感染対策拡大防止は継続しており、入退院支援も様々な面で制約を受けていたが、北空知地域内外の各種研修会や会議にオンライン参加や感染対策をした上での集合開催などの工夫を行っており、関係者との連携を図り相談業務充実に努めた。

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（共通課題の抽出）

- ⇒ 地域ケア会議は状況に応じて中止などもあったが、深川市（月2回）、妹背牛町（月1回）、秩父別町（2か月に1回）、北竜町（月1回）、沼田町（不定期）に出席し、関係市町及び事業所等との連携構築に努め、また共通課題の抽出の情報収集に努めた。

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

- ⇒ 入退院支援業務や相談業務を通じて関係者との連携・調整に努めた。

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

- ⇒ 関係市町への認知症サポート医及び看護職の派遣・調整を行った。

・令和5年度の実施件数 0件

平成29年度5件（深川市4件、北竜町1件）、うち市立病院看護師派遣1件（北竜町）

平成30年度4件（深川市）、令和元年度2件（深川市）、令和2年度2件（深川市）

令和3年度2件（深川市）、令和4年度1件（深川市）、令和5年度0件

4. 部会構成員（令和5年4月～令和6年3月）24名⇒23名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	沼田町保健福祉課主幹	森 田 秀 幸	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	梅 澤 健 志	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課地域包括支援係長 ↓ 深川市高齢者支援課相談サービス係長 ↓ 深川市健康・子ども課障がい福祉係長 ↓ (選出中)	小鍛冶 真由美 畑 山 賢 明 ↓ (選出中)	医療介護相談支援小部会 R5.10機構改革 在宅生活支援小部会 R5.10機構改革
	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	深川医師会	(欠 員)	
委 員	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	白 鳥 千恵子	深川第一病院
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	望 月 み さ ↓ 団体内持ち回り	グループホームなごみ R5.12申出
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	後 藤 康 之	
	深川保健所企画総務課指導主任保健師	櫻 井 優 子	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	石 橋 知 華	デイサービスみんカフェ
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	

	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山 崎 雄 大	居宅りふれ
	秩父別町住民課介護相談係長	池 田 有里恵	
	秩父別町住民課健康推進係	松 原 舞 姫	
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	倉 谷 亮 子	北竜町永楽園
	北竜町住民課介護予防係長	内 田 奈保子	
	沼田町保健福祉課主査	山 下 広 大	
事務局員	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係	井 川 郁 実	
	深川市立病院地域連携室地域連携係	廣 瀬 詩 織	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

森田（小部会長）、小鍛冶（副小部会長）、中神、白鳥、石橋、高橋都、櫻井、野本、池田、倉谷、藤原、廣瀬、村田
(13名)

【在宅生活支援小部会】

梅澤（小部会長）、畑山（副小部会長）⇒選出中、工藤、望月⇒ケアマネ連協、後藤、山崎、松原、内田、山下、佐藤、井川、村田
(12名⇒11名)

令和5年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	高 田 光 徳	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局長	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等 の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	尾 中 康 晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係	井 川 郁 実	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係	廣 瀬 詩 織	医療介護相談・在宅生活支援部会

《令和6年度事業計画》

1. 令和6年度事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催
(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)
(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)
(連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する)
- ②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討
(認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネート業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席 (共通課題の抽出)
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 部会構成員 (令和6年4月～令和7年3月) 23名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	沼田町保健福祉課主幹	森 田 秀 幸	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	福 島 隆 一	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課相談サービス係長	小鍛冶 真由美	医療介護相談支援小部会
	深川市健康・子ども課健康推進係主査	竹 内 豪 志	在宅生活支援小部会
委 員	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	深川医師会	(欠 員)	
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	工 藤 恵 子	訪問看護ステーション みんソラ
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	団体内持ち回り	
	深川地区消防組合深川消防署救急課救急救助係長	後 藤 康 之	
	深川保健所企画総務課主査 (保健推進)	三 井 浩 明	
	北空知区域内介護事業所 (深川市)	石 橋 知 華	デイサービスみんカフェ
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	
	北空知区域内介護事業所 (妹背牛町)	山 崎 雄 大	居宅りふれ
	秩父別町住民課介護相談係長	池 田 有里恵	
	秩父別町住民課健康推進係	松 原 舞 姫	
	北空知区域内介護事業所 (北竜町)	倉 谷 亮 子	北竜町永楽園
	北竜町住民課介護予防係長	内 田 奈保子	
	沼田町保健福祉課主査	山 下 広 大	
事務局員	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係	井 川 郁 実	
	深川市立病院地域連携室地域連携係	廣 瀬 詩 織	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

森田（小部会長）、小鍛冶（副小部会長）、中神、工藤（恵）、石橋、高橋都、三井、野本、池田、倉谷、藤原、廣瀬、村田（13名）

【在宅生活支援小部会】

福島（小部会長）、竹内（副小部会長）、工藤（博）、ケアマネ連協、後藤、山崎、松原、内田、山下、佐藤、井川、村田（11名）

令和6年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	高 田 光 徳	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局長	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業 等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	尾 中 康 晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係	井 川 郁 実	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係	廣 瀬 詩 織	医療介護相談・在宅生活支援部会

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
5 月 日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和6年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
6 月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6（7）月 日	第1回協議会議	部会の議案説明

（医療介護相談・在宅生活支援部会）

年月日	項 目	内 容
6 月 日	第1回部会	令和6年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2 月 日	第2回部会	令和6年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(医療介護相談支援小部会)

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	入退院支援研修会の企画ほか 第1回入退院支援研修会の開催協議 地域ケア会議から見えた地域課題の検討 入退院支援調整ルール実態調査の実施について
月 日	第2回小部会	第1回入退院支援研修会の開催準備協議 (提供事例、開催要項・開催案内ほか) 地域課題とアンケート実施協議
月 日	第3回小部会	第1回入退院支援研修会の直前運営協議 (ファシリ選任、グループ分け、進行ほか) 地域課題とアンケート実施協議
月 日	第1回入退院支援研修会	
月 日	第4回小部会	第1回研修会の振り返り・評価 アンケート結果とりまとめ
12月 日	第5回小部会	研修会とアンケート結果を踏まえた対応協議 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(在宅生活支援小部会)

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	きたそらりんく運用ルールの検証、その他情報共有ツールの検討 認知症スキルアップ研修会アンケート結果を踏まえた認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議
月 日	第2回小部会	上記協議により開催
月 日	第3回小部会	同上
月 日	第4回小部会	同上
1月まで終了	第5回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の取りまとめ 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

Ⅱ 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握と情報提供

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

《令和5年度事業報告》

1. 令和5年度事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
(ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討)
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催の企画と運営
(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)
(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実(派遣場所・職種拡大)
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
 - ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 関係会議等開催状況

○これまでの経過（感染対策、利便性）から専門部会・小部会は、基本的にオンライン開催とし、協議内容や感染対策状況に応じて集合形式も検討し開催。

○第1回部会（Web）

令和5年6月22日（木）～28日（水）きたそらりんく利用会議

6月28日（水）18:00～18:24 Zoom利用会議

出席者19名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）令和4年度事業報告（進捗状況）の確認について
- （2）令和5年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- （3）小部会・会議の構成（案）について
- （4）令和2～4年度事業における評価と課題及び今後の方針について
- （5）今後の予定

※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。令和4年度に見直しを行った結果、今年度も「医療介護相談支援小部会」「在宅生活支援小部会」の2小部会を設置し事業に取り組むこととなり、部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

○第2回部会（Web）

令和6年3月 7日（金）～12日（火）きたそらりんく利用会議

12日（火）17:17～17:32 Zoom利用会議

出席者18名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）令和5年度事業報告の確認について
- （2）令和6年度事業計画及び年間スケジュールについて
 - 1）部会全体の計画
 - 2）研修会の合同開催について
- （3）今後の予定（新年度）

○第1回多職種連携研修小部会（Web）

令和5年6月22日（木）～28日（水）きたそらりんく利用会議

6月28日（水）部会終了後（18:32）～19:01 Zoom利用会議

出席者9名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）副小部会長の選任について
 - ・本来、副小部会長は北空知介護支援専門員連絡協議会からの選出となっていたが、人員不足、ベテラン役員の退任などにより選出が困難となったことから現任委員内から副小部会長を選任することとした。当日に選任できなかったため後日個別に依頼することとなった。
- （2）令和5年度の活動について
 - ・ケア・カフェは1回目を9月 ZOOM 開催とする。身元引受人をテーマに市内弁護士に依頼
 - ・入退院支援研修会と合同開催することを担当小部会（医療介護相談支援小部会）に伝え検討してもらう
 - ・2回目のテーマは次回以降協議
- （3）今後の予定について
 - ・今後の小部会開催は、なるべく早い段階で日程調整し、17時位から ZOOM を基本とする
 - ・日中も可能な委員が多いが医師委員などは別途確認することとした

○第2回多職種連携研修小部会（Web）

令和5年7月28日（金）～8月2日（水）きたそらりんく利用会議

8月2日（水）17:00～17:59 Zoom利用会議

出席者8名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）副小部会長の選任について

- ・北空知栄養士会岡本委員に依頼しご承引いただいた

（2）第1回研修会の実施内容

- ・「身元引受人」の具体的な講話依頼内容は、良い・悪い・驚くような実践的な事例とし、福祉施設や病院への入退所（院）で実務的にどこまでを業務として弁護士が対応してくれるのか、料金、対象者。成年後見人制度との違い（定義）などを弁護士と相談し決定していく
- ・実施内容は情報提供⇒グループワーク1⇒グループワーク2⇒全体共有と従前どおり
- ・狙う参加者層は弁護士と講話内容を相談した結果でテーマを整理し協議
- ・役割分担を協議
- ・次回テーマは若手職員にどのような話題だと参加するか各委員が調査し、今後所属事業所などで予定されている研修会を確認の上、参加者の負担軽減と勉強重視型か会話重視型か検討する

○第3回多職種連携研修小部会（Web）

令和5年9月19日（火）～9月21日（木）きたそらりんく利用会議

9月21日（木）17:00～17:52 Zoom利用会議

出席者8名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）第1回研修会の実施内容

- ・テーマは「弁護士さんに聞く身寄りのない方の支援」に決定し、日程は10/15以降で弁護士の都合に合わせ調整することとした
- ・幅広い年代と職種を狙うが、若年層の参加が少ないことからチラシ配布時の声掛けをする
- ・役割分担・当日配布資料・その他用意するものを確認した
- ・次回テーマは第1回のアンケート結果を踏まえ次回以降小部会で協議するなどを協議した。

○第4回多職種連携研修小部会

令和5年12月15日（金）～12月20日（水）きたそらりんく利用会議

12月20日（水）17:00～18:11 Zoom利用会議

出席者8名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）第1回研修会の振り返り・評価について

- ・研修会のまとめ・評価は、内容としては概ね「○」の評価であったが、「顔の見える関係」は一定の成果が出ているという意見もある一方、研修会が多く委員負担や参加者の減少につながっているとも考えられることから、他（小）部会との合同研修会の開催や、話せる機会を重視するのか、研修会に重きを置くのか等、今後の方針を検討する時期に来ているとする評価もあった
- ・今回も協力者の確保には至らず「×」の評価となった

（2）次回研修会の内容について

- ・次のケア・カフェは、次年度早々の開催を目指し企画検討を行い、今年度は1回で終了
- ・今後のあり方の検討方法として、講話（研修）無しのケア・カフェと入退院支援研修会と共催のケア・カフェを実施するなどの検討を行う
- ・今年度のまとめと次年度の計画を運営会議へ報告するため、1～2月に小部会を開催する

○第5回多職種連携研修小部会（Web）

令和6年3月 7日（金）～12日（火）きたそらりんく利用会議

12日（火）部会終了後17:32～17:51 Zoom利用会議

出席者 8名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）次回研修会の内容について
- （2）本年度事業の実績及び次年度計画
- （3）今後のスケジュール（新年度）

○第1回情報共有・地域啓発小部会（Web）

令和5年6月22日（木）～28日（水）きたそらりんく利用会議

6月28日（水）部会終了後（18:30）～18:45 Zoom利用会議

出席者8名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）前年度の協議経過及び令和5年度の活動について

前年度に協議してきた住民フォーラムと地域住民向け研修会等メニューについて経過を説明し、以下の内容を協議した。

- ・住民フォーラムは沼田町でコロナ禍前のように北空知住民を対象として10/21（土）開催
- ・はあとふる沼田（みまもりのネットワーク団体）と共催
- ・一般社団法人 Wellbe Design【ウェルビー・デザイン】理事長篠原氏に講師依頼済
- ・地域住民向けの研修会等メニューは次回改めて協議

- （2）今後のスケジュール

- ・日中参加可能という委員が多いが、委員負担等を考慮し、職場によっては参加可能な範囲とする

○第2回情報共有・地域啓発小部会

令和5年7月20日（木）～26日（水）きたそらりんく利用会議

7月26日（水）18:04～18:51 Zoom利用会議

出席者11名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について

- ・講演テーマは講師と開催町で相談し「人生の最後まで健康的な暮らしを支える医療と介護と保健と福祉」に決定
 - ・実施内容をコロナ禍前に戻し、訪問看護ステーションの取り組み報告、質疑応答を復活
 - ・各市町でチラシ・ポスターを掲示し、広報等で周知
- などを協議した。

- （2）地域住民向けの研修会等メニューについて

次回以降に検討することとした

○第3回情報共有・地域啓発小部会

令和5年9月12日（火）～14日（木）きたそらりんく利用会議

9月14日（木）17:30～18:13 Zoom利用会議

出席者8名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について

- ・当日の集合時間や会場設営など具体的な作業の最終確認

○第4回情報共有・地域啓発小部会

令和5年12月4日（月）17:30～ Zoom利用会議

出席者 9 名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （１）住民フォーラム職種別・市町別参加状況の振り返り・評価について
 - ・アンケート結果からも「自分や家族の人生の最後について今から準備が必要だったと思った」等の意見が多くフォーラムの目的は達成されたと思われる
 - ・次年度は深川市開催。内容は今後協議し、実施時期は秋口予定とする
- （２）地域住民向けの研修会等メニューについて
 - ・リスト内容を再確認し圏域事業所へ配布、ホームページ等に掲載
 - ・セットメニューは要望があれば組み合わせて実施することも可（可能な範囲で）とし、基本は単品での講話とする
 - ・案内チラシはデザインが上手な職員に依頼し、記載内容は事務局から連絡するなどを協議した

○第 5 回情報共有・地域啓発小部会

令和 6 年 3 月 7 日（金）～ 12 日（火）きたそらりんく利用会議

12 日（火）部会終了後 17:38～17:52 Zoom 利用会議

出席者 8 名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （１）地域住民向けの研修会等メニューについて
- ・案内チラシの職員デザインは困難との回答から、有料でのデザインを行っている個人に依頼することについて協議し委員の了承を得た
- （２）住民フォーラムの検討状況について
深川市で開催予定のフォーラムについて以下のとおり検討経過を報告した
- ・日程は 10/19（土）か 10/27（土）、場所は経済センター
- ・終活の講演会を中心とし、そのほか成年後見相談や認知症相談などのブースを設け、若い方にも来てもらえるような内容（具体的などころまでは未定）を検討中
- （３）本年度事業の実績及び次年度計画
- （４）今後のスケジュール（新年度）

○第 1 回地域包括ケアに携わる多職種合同研修会

「第 1 回ケア・カフェきたそらち～弁護士さんに聞く！身寄りのない方の支援～」

令和 5 年 11 月 15 日（水）18:00～19:58

参加者 60 名（事前申込者 60 名 欠席 3 名、当日受付 3 名）

（市町別：深川市 39 名、妹背牛町 5 名、秩父別町 3 名、北竜町 5 名、沼田町 8 名）

（職種別：医師 7 名、歯科医師 2 名、弁護士 1 名、薬剤師 1 名、看護職 14 名、保健師 13 名、介護支援専門員 5 名、介護福祉士 1 名、社会福祉士 4 名、ソーシャルワーカー 2 名、相談員 3 名、管理者 2 名、事務職 2 名、その他 3 名）

- （１）話題提供「弁護士さんに聞く！身寄りのない方の支援」
 - ・話題提供者：深川総合法律事務所弁護士 石井 洋文 氏
- （２）グループワーク（情報・意見交換・意見交換）
 - ・テーマ「地域の高齢化によって変わってきたこと、私たちが感じていること」
 - ・カフェ・マスター 妹背牛町健康福祉課 末岡 崇 氏
 - ・サブマスター オンライン開催のため配置なし

※石井弁護士からは、身寄りのない方は増加しており、対象者本人や施設・病院への支援として弁護士の立場でできること（後見制度や契約）を、事例を交えて詳細且つ分かりやすく説明していただいた。また、制度の限界や引き受け困難な場合など課題も併せて紹介された。

- ・グループワークは ZOOM 機能（ブレイクアウトルーム）によりランダムに 9 グループ編成され、1 グループ 4～9 人で行われ、末岡カフェ・マスターの進行で、「ケア・カフェ」と、グループワークで

の自己紹介の内容（氏名・所属・職種・今年のマイニュース）について説明があった後に Chat 1 が開始され、休憩を挟んで Chat 2、全体会へと進行された。

- ・実際に個々の業務の中での身寄りのない方への支援で困ったこと等、仕事や私生活上での体験など意見交換することができた

○在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 沼田町

～いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？どう送りたいですか？～

令和5年10月21日（土）13：30～15：45 沼田町健康福祉総合センター

参加者 97名（沼田町68名、深川市14名、妹背牛町5名、秩父別町5名、北竜町3名、その他2名）

（1）北空知地域の在宅医療・介護の取組紹介

「自宅で安心して暮らすために～チーム北空知の取組」

紹介者 北空知地域医療介護連携支援センター事務局長 村田 真紀 氏

「自宅で安心して暮らすために～訪問看護の取組」

紹介者 深川市立病院訪問看護ステーション「みのり」管理者 立花 洋子 氏

（2）講演「人生の最後まで健康的な暮らしを支える、医療と介護と保健と福祉」

講師 一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二 氏

（3）意見交換「支え合う地域づくり」

- ・町内のボランティアサークルなど2団体から発言があり「のぞみサークル」では活動20年目を迎え、当初は高齢者気軽が気軽集まれる場所が無かったが、お茶会から始まりゲームや食事会を行い、参加者の笑顔とお礼を励みに頑張ってきたこと、「食生活改善協議会」は年1回食事を通してレシピ集の配布や多団体のアトラクションなどを取り入れ活動してきていることの報告があった。
- ・感染症対策をしながら令和元年度北竜町での開催以来の現地開催とし、地域住民に広く募集をした結果、開催地の声掛けの成果もあり97名と多くの参加を得た。
- ・早めに来場された方のために、「ライスパワー体操」のDVD動画を上映し、それを見ながら一緒に身体を動かすよう作業療法士から声掛けがあり、希望者へDVD提供も行い3セット購入があった。
- ・最初に、北空知地域の在宅医療・介護の取組の紹介を協議会作成のパンフレットを基に行った。
- ・講演では「専門職の連携の必要性」、「住民力も必要であること」、「災害対策には保健福祉医療の連携が必要」などについて、ポイントを抑えた詳細な説明があり、憲法や漢字に込められた福祉の意味や、互いに支え合う地域福祉の重要性、災害に備えるためにも地域と専門職がそれぞれの役割を分担することなどの内容に、参加者は熱心に耳を傾けていました。
- ・参加者アンケートからも「専門職でないが、暮らしを支える人になれるという言葉に感銘した」「難しく考えず、まずは小さな恩送りで支え合える地域が作られていくのだと学べた」「在宅で暮らす患者さんの思いが伝わってきた」など、地域での支え合いについて考えてもらう場とすることができたとわれ、フォーラムのテーマや目的である、人生の最期をどう迎えたいか、送りたいかを自分自身の問題として考える機会となったことが伺えた。

○第1回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和5年10月30日（月）13：30～14：10 ZOOM 会議

出席者6名（市町地域包括支援センター担当者、事務局員）

・協議・確認事項

（1）各事業項目別 実施件数(令和5年4月～9月)

（2）令和5年度上半期進捗状況

- ・個別訪問、通所訪問、介護予防事業、地域ケア会議、スタッフ研修会について、実施状況や今後の対策について協議した
- ・昨年度きたそらりんく「DS専用リハビリ相談室」活用参加について調査した結果、連携可能と回答のあった事業所にアカウント発行するなどして接続を開始した

（3）その他

・参加者からは令和4年度から開始したST派遣事業について、「対象者の選定で悩むことがある」「分かりやすい事例などがあると今後の選定などにつなげやすい」という意見があった一方、「具体的な指導を受けたことで対象者の満足度が高かった」という話があったなどの報告・協議を行った。
○第2回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議 令和6年3月8日（金） 16：04～17：10 出席者8名（市町地域包括支援センター担当者、事務局員） ・協議・確認事項 （1）今年度事業のまとめと次年度の取組について

○介護保険サービス事業所スタッフ向け研修会の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	2	ケアマネスキルアップ研修会
妹背牛町	0	
秩父別町	1	特養和敬園スタッフ研修会
北竜町	5	グループホーム碧水スタッフ研修会、特養永楽園スタッフ研修会 永楽園スタッフ研修会
沼田町	1	沼田町デイサービスセンター
合計	9	

○住民向け講演会・研修会等の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	18	開西町お結びサロン、西町すまいるサロン、男塾、くらしかる、ライパー会 健康長寿OB、西町男塾、あけぼの友の会、深まる講座、駅ちかサロンはまな す、交通安全指導員道央ブロック研修会、錦町サロン、新光町サロン
妹背牛町	9	すまい・ル、わかち愛サロン、生活支援ハウスすまい・ル、社協フィットネ ス
秩父別町	6	脳活
北竜町	7	たんぽぽクラブ、北竜町健康ナビ
沼田町	14	のぞみ会サロン、旭町サロン、緑町サロン、元気100倍教室、北竜地区老 人クラブ
合計	54	

3. 事業の進捗状況

（１）地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
 ⇒ 各種事業の案内周知・報告の掲載など、ホームページの更新を14回（件）行った。
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
 （ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討）
 ⇒ 各会議体委員等に情報提供として関係団体の研修等について「きたそらりんく（バイタルリン
ク）」に掲載したが、地域住民への提供や高齢者等へ周知については具体的検討には至らなかった。
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討
 ⇒ 関係機関・団体にホームページとのリンクを依頼しているほか、具体的検討には至らなかった。

（２）医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 ・多職種合同研修会の開催の企画と運営

(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)

(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)

⇒ 11月にケア・カフェ方式の研修会をオンライン開催した。

・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討

⇒ オンライン開催による研修については協議会委員を通じ各団体・施設での回覧等周知をしていた。共同開催の意見が複数出ていることから今後部会間での協議を行うこととした。

⇒ 各種事業での利用がスムーズにできるよう Zoom ミーティングの有料版を導入し、ケア・カフェ及び入退院支援研修会、及び各会議体会議において利用した。

関係機関・団体からの情報提供により、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応したオンライン研修やビデオ視聴研修などの研修情報を適宜、本協議会の各会議体委員等へメールや「きたそらちりんく」等で案内した。

・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討

⇒ 地域リハビリテーション活動支援事業を通じ、関係市町の介護予防事業や介護保険サービス事業所の職員研修に作業療法士を派遣した。また、市町要望を受け、令和4年度から言語聴覚士の派遣を開始した。

②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実(派遣場所・職種拡大)

⇒ 平時の対応に戻りつつも一部活動が制約されたが、市立病院の複数の作業療法士で市町担当を決め、派遣調整を行った。

⇒ 深川市立病院で考案した介護予防体操「ライスパワー体操」の紹介・普及を図るため、深川市と共同し作成したDVDを配布し、市民の自主的な介護予防活動の促進に努めた。

DVDは高齢者が操作しやすいように、基本編、短縮編、上級編の3枚に分け、「短縮編・基本編」と「基本編・上級編」の2種類、2枚1組にしたセット版も作成している。

⇒ また、「地域リハビリテーション活動支援事業パンフレット」を作成し、各市町へ配布し事業所スタッフ向けに利用啓発をすすめた。

・事業者向け研修会等の実施による普及推進

⇒ 深川市、秩父別町、北竜町、沼田町の介護事業所でスタッフ研修を実施した。

・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

⇒ これまでの事業の成果と課題等を共有するため、関係市町の地域ケア会議や事業所の研修などで報告し事業の一層の普及推進に努めた。

(3) 地域住民への普及啓発

①在宅医療や介護などについての講演会等の開催

・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催

⇒ 令和5年10月に沼田町で北空知地域住民フォーラムを開催した。平成元年開催以来の現地開催として、「人生の最後まで健康的な暮らしを支える、医療と介護と保健と福祉」と題し講演を実施した。1市4町を一巡し、令和6年度は深川市での開催を予定している。

・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施

⇒ 「地域住民向け講演会・研修会のメニュー」を検討し実際に配布・周知するため、分かりやすく訴求力のあるデザインで作成することを協議した。

⇒ 地域リハビリテーション活動の出前講座は、上記「住民向け講演会・研修会等の開催」のとおり、54カ所(件)で実施した。

②在宅医療や介護に関する住民広報の実施

・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施

⇒ 介護予防の住民啓発資料として、介護予防体操「ライスパワー体操」DVD(令和3年度増刷)、「住み慣れたまちで安心して暮らすために」(令和3年度増刷)、「困った時は地域包括支援センターへ」(令和3年度新規作成)を関係市町及び市立病院に配布し各種事業で活用している。

・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

⇒ 具体的な検討には至らなかった。

4. 部会構成員（令和5年4月～令和6年3月）21名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	妹背牛町健康福祉課主幹	南 美也子	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早 智	多職種連携研修小部会長
副小部会長	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	多職種連携研修小部会 エーデルワイス
	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太 田 祥 予	情報共有・地域啓発小部会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会議長	児 島 俊 一	りふれ施設長(管理医師)
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	(選考中)	薬剤師会事務局で選考中
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	杉 谷 由 香	北海道中央病院
	深川保健所企画総務課主査（保健推進）	三 井 浩 明	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係（保健師） ↓ 深川市高齢者支援課相談サービス係（保健師）	和 田 奈津美	R 5. 10 機構改革
	深川市高齢者支援課地域包括支援係（社会福祉士） ↓ 深川市高齢者支援課相談サービス係（社会福祉士）	立 川 智 章	R 5. 10 機構改革
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	
	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	(選考中)	
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	小 山 俊 朗	沼田町デイサービスセンタ ー
	北竜町住民課地域包括推進係長	大 井 敬 太	
	沼田町保健福祉課主査	礪 宏 一	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	
	深川市立病院地域連携室地域連携室係長	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【多職種連携研修小部会】

神薮（小部会長）、岡本（副小部会長）、大谷内、中澤、杉谷、三井、立川、末岡、（選考中）、小山、尾中、村田（11名）

運営協力員：疋田健（訪問看護いしずえ）、坂本一樹（市立病院看護師）、永洞政幸（市立病院作業療法士）⇒退職（3名⇒2名）

【情報共有・地域啓発小部会】

南（小部会長）、太田（副小部会長）、児島、伊東、（選考中）、北本、和田、大井、礪、赤松、立花、村田（11名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

村田（座長）、赤松（事業担当）、野原（深川市）、末岡（妹背牛町）、太田（秩父別町）、大平（北竜町）、礪（沼田町）（7名）

《令和6年度事業計画》

1. 令和6年度事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
(ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討)
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催の企画と運営
(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)
(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)
(連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する)
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実(派遣場所・職種拡大)
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
 - ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 部会構成員(令和6年4月～令和7年3月) 24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	妹背牛町健康福祉課主幹	南 美也子	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早 智	多職種連携研修小部会長
副小部会長	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	多職種連携研修小部会 エーデルワイス
	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太 田 祥 予	情報共有・地域啓発小部会
委 員 事務局員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会議長	児 島 俊 一	りふれ施設長(管理医師)
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	(選考中)	薬剤師会事務局で選考中
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	疋 田 健	訪問看護ステーション いしずえ深川
	深川保健所企画総務課主査(保健推進)	三 井 浩 明	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地相談サービス係(保健師)	和 田 奈津美	
	深川市高齢者支援課相談サービス係(社会福祉士)	立 川 智 章	
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	

	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	（選考中）	
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	小 山 俊 朗	沼田町デイサービスセンター
	北竜町住民課地域包括推進係長	大 井 敬 太	
	沼田町保健福祉課主査	鈴 木 悠里江	
	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
事務局員 部 会 長	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	
	深川市立病院地域連携室地域連携室係長	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【多職種連携研修小部会】

神薙（小部会長）、岡本（副小部会長）、大谷内、中澤、疋田、三井、立川、末岡、（選考中）、小山、尾中、村田（11名）

運営協力員：坂本一樹（市立病院看護師）（1名）

【情報共有・地域啓発小部会】

南（小部会長）、太田（副小部会長）、児島、伊東、（選考中）、北本、和田、大井、鈴木、赤松、立花、村田（11名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

村田（座長）、赤松（事業担当）、野原（深川市）、末岡（妹背牛町）、太田（秩父別町）、太平（北竜町）、鈴木（沼田町）（7名）

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
5 月 日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和6年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
6 月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6（7）月 日	第1回協議会議	部会の議案説明

（多職種連携・地域啓発部会）

年月日	項 目	内 容
6 月 日	第1回部会	令和6年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2 月 日	第2回部会	令和6年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（多職種連携研修小部会）

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	多職種合同研修会の企画ほか
月 日	第2回小部会	第1回多職種合同研修会の開催準備協議
月 日	第1回多職種合同研修会	テーマ「未定」
月 日	第3回小部会	第1回多職種合同研修会の振り返り・評価 第2回多職種合同研修会の開催準備協議
月 日	第2回多職種合同研修会	テーマ「未定」
月 日	第4回小部会	第2回多職種合同研修会の振り返り・評価 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(情報共有・地域啓発小部会)

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回小部会	住民向け講演会・研修会のメニューづくり、 地域啓発事業の企画協議、ホームページ見直しほか 地域住民フォーラムの開催準備協議
月 日	第2回小部会	地域住民フォーラムの開催準備協議
月 日	第3回小部会	地域住民フォーラムの開催準備協議 月上旬に開催案内 (市町広報 月末原稿提出、 月号掲載)
10月19日 又は29日	北空知地域住民フォーラム	深川市で開催
月 日	第4回小部会	地域住民フォーラムの振り返り・評価ほか
1月まで終了	第5回小部会	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

※北空知地域住民フォーラムは、令和6年度に深川市で開催し、以降4町で順次開催する。

(地域リハビリテーション活動支援事業調整会議)

年月日	項 目	内 容
8月 日	第1回調整会議	今年度事業の中間評価と後半に向けての協議
2月 日	第2回調整会議	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

令和5年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	10,754,700	10,754,700	0	各市町負担金 深川市 4,634,200 円 妹背牛町 1,610,516 円 秩父別町 1,494,366 円 北竜町 1,395,153 円 沼田町 1,620,465 円 計 10,754,700 円
合 計	10,754,700	10,754,700	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,078,000	8,078,000	0	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,343,059円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1人区=8,078,000円
連絡車両維持費	234,000	82,575	△ 151,425	年間車両レンタル料 30,800円/台/5か月×1/3(車両利用割合)≒51,335円 (R6.4~R6.8) リースアップ買上料 93,720円×1/3(車両利用割合)=31,240円
事業費	539,000	537,020	△ 1,980	北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議、プロジェクトチーム 医療介護相談・在宅生活支援部会 多職種連携・地域啓発部会 オンライン多職種合同研修会開催経費 95,691円 きたそらりんく導入運営経費 73,540円 コロナ研修会 115,196円 ホームページ更新・管理経費 71,500円 住民フォーラム 113,634円 入退院支援・調整ルール 67,459円 ※事務室やパソコン等の備品等使用料は含んでいません。
事務費	460,000	419,707	△ 40,293	コピー機賃借及び使用料 266,405円 センター事務費 7,980円 介護新聞購読料 16,500円 消耗品・消耗備品 62,310円 郵送料 16,624円 連絡車両燃料費・保険料 49,888円 事務費計 419,707円
一般管理費	466,000	659,698	193,698	(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費) 9,117,302円×10%=911,730円>659,698円 【7.24%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	977,700	977,700	0	消費税(10%) 9,777,000円×10%=977,700円
合 計	10,754,700	10,754,700	0	

令和5年度 地域リハビリテーション活動支援事業決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,710,800	9,710,800	0	各市町負担金 深川市 5,529,718 円 妹背牛町 1,161,412 円 秩父別町 993,609 円 北竜町 850,277 円 沼田町 1,175,784 円 計 9,710,800 円
合 計	9,710,800	9,710,800	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,642,000	7,642,000	0	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,490,125円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区≒7,642,000円
連絡車両維持費	415,000	382,800	△ 32,200	年間車両レンタル料 382,800円(イグニス)
事務費	350,000	281,175	△ 68,825	きたそらりんく導入運営経費 19,800円 コピー機賃借及び使用料 33,301円 消耗品・消耗備品 144,429円 連絡車両燃料費・保険料 99,045円 ※事務室やパソコン等の備品等使用料は含んでいません。 事務費計 281,175円 ライスパワー体操のDVD作成費について、販売収入(200円×47セット=9,400円)を充当して計上
一般管理費	421,000	522,025	101,025	(人件費+連絡車両維持費+事務費) 8,305,975円×10%=830,598円>522,025円 【6.28%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	882,800	882,800	0	消費税(10%) 8,828,000円×10%=882,800円
合 計	9,710,800	9,710,800	0	

令和6年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	10,754,700	9,594,000	△ 1,160,700	各市町負担金 深川市 4,135,013円 妹背牛町1,437,421円 秩父別町1,332,607円 北竜町 1,244,102円 沼田町 1,444,857円 計 9,594,000円
合 計	10,754,700	9,594,000	△ 1,160,700	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,078,000	7,944,000	△ 134,000	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,221,139円(市立病院正看護職員平均給与費)×1.1人区=7,943,253円
連絡車両維持費	234,000	133,000	△ 101,000	年間車両レンタル料1台 60,000円/月×12ヵ月×1.1×1/3(車両利用割合)=264,000円【車両入替】 R5新規リース予算-R5実経費控除△131,000
事業費	539,000	600,000	61,000	北空知地域医療介護確保推進協議会 協議会各会議体の開催経費、事業案内経費 運営会議 講演会・研修会等の講師謝礼・会場使用料・資料作成費など Ⅰ医療介護相談・在宅生活支援部会 パンフレット作成経費 Ⅱ多職種連携・地域啓発部会 ホームページ作成・更新・管理経費など
事務費	460,000	460,000	0	事務費(固定)460,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	466,000	457,000	△ 9,000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)9,137,000円×5%=456,850円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	977,700	0	△ 977,700	包括的支援事業非課税告示(消費税法施行令第14条の3第5号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する資産の譲渡等の一部を改正する件(平成27年厚生労働省告示第232号))により非課税
合 計	10,754,700	9,594,000	△ 1,160,700	

令和6年度 地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,710,800	9,293,900	△ 416,900	各市町負担金 深川市 5,293,806円 妹背牛町1,112,665円 秩父別町 950,208円 北竜町 813,031円 沼田町 1,124,190円 計 9,293,900円
合 計	9,710,800	9,293,900	△ 416,900	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,642,000	7,313,000	△ 329,000	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,124,886円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区=7,312,397円
連絡車両維持費	415,000	383,000	△ 32,000	年間車両レンタル料+タイヤ経費 29,000×1.1×12ヶ月=382,800円/1台(イグニス)
事務費	350,000	350,000	0	事務費(定額)350,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	421,000	403,000	△ 18,000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)8,046,000円×5%=402,300円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	882,800	844,900	△ 37,900	消費税(10%)8,449,000円×10%=844,900円
合 計	9,710,800	9,293,900	△ 416,900	

令和5年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	会議・行事等	場所
R05.03.10	R05.03.16	第4回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.03.16		第4回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.04.17		北空知新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム員会議	Web上
R05.04.18		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.04.20		深川市地域ケア会議	深川市
R05.04.24		北竜町地域ケア会議	北竜町
R05.05.11		深川市地域ケア会議	深川市
R05.05.12	R05.05.16	第1回正副座長・部会長等会議(きたそらりんく)	Web上
R05.05.16		第1回正副座長・部会長等会議(ZOOM)	Web上
R05.05.16		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.05.18		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R05.05.19		北空知新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム員会議	Web上
R05.05.26		新型コロナウイルス感染症対策研修会(79名)	深川市
R05.05.29	R05.06.02	第1回運営会議(きたそらりんく)	Web上
R05.06.02		第1回運営会議(ZOOM)	Web上
R05.05.29		北竜町地域ケア会議	北竜町
R05.06.20		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.06.22		深川市地域ケア会議	深川市
R05.06.22	R05.06.27	第1回 医療介護相談・在宅生活支援部会(きたそらりんく)	Web上
R05.06.27		第1回 医療介護相談・在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上
R05.06.22	R05.06.27	第1回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.06.27		第1回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.06.22	R05.06.27	第1回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.06.27		第1回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.06.22	R05.06.28	第1回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上
R05.06.28		第1回 多職種連携・地域啓発部会(ZOOM)	Web上
R05.06.22	R05.06.28	第1回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.06.28		第1回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R05.06.22	R05.06.28	第1回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.06.28		第1回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R05.06.26		北竜町地域ケア会議	北竜町
R05.06.29		北空知成年後見相談センター運営協議会	深川市
R05.06.30		沼田町地域ケア会議	沼田町
R05.07.03		北空知地域医療介護確保推進協議会	深川市
R05.07.06		深川市地域ケア会議	深川市
R05.07.18		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.07.20		深川市地域ケア会議	深川市
R05.07.20	R05.07.26	第2回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.07.26		第2回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R05.07.20		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R05.07.25	R05.07.27	第2回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.07.27		第2回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上

令和5年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	会議・行事等	場所
R05.07.28	R05.08.02	第2回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.08.02		第2回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R05.07.31		北竜町地域ケア会議	北竜町
R05.08.01	R05.08.04	第2回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.08.04		第2回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.08.01		北空知新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム員会議	深川市
R05.08.22		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.08.24		深川市地域ケア会議	深川市
R05.09.12	R05.09.14	第3回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.09.14		第3回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R05.09.14		深川市地域ケア会議	深川市
R05.09.19	R05.09.21	第3回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.09.21		第3回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R05.09.19		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.09.21		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R05.09.25		北竜町地域ケア会議	北竜町
R05.09.28		深川市地域ケア会議	深川市
R05.10.13	R05.10.17	第3回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.10.17		第3回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.10.13	R05.10.16	第3回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.10.16		第3回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.10.17		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.10.21		在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin沼田(97名)	北竜町
R05.10.26		深川市地域ケア会議	深川市
R05.10.30		第1回 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議	Web上
R05.10.30	R05.10.31	第2回運営会議(きたそらりんく)	Web上
R05.10.31		第1回地域医療・介護担当課長等会議	Web上
R05.10.31		第2回運営会議(ZOOM)	Web上
R05.11.06	R05.11.07	第4回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R05.11.07		第4回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.11.15		地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第1回ケア・カフェきたそらち」(60名)	Web上
R05.11.16		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R05.11.20		令和5年度第2回スキルアップ研修会(北空知介護支援専門員連絡協議会主催)	深川市
R05.11.21		深川市自殺対策連絡会議	深川市
R05.11.21		深川市地域ケア会議	深川市
R05.11.21		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R05.11.27		北竜町地域ケア会議	北竜町
R05.12.04		第4回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R05.12.07		第5回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R05.12.14		北空知地域入退院支援研修会(40名)	Web上
R05.12.14		在宅生活支援小部会事業打合せ	Web上
R05.12.15	R05.12.20	第4回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上

令和5年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	会議・行事等	場所
R05.12.20		第4回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R05.12.20		深川市高齢者虐待防止ネットワーク会議・深川市SOSネットワーク連絡会議	深川市
R05.12.21		深川市地域ケア会議	深川市
R06.01.11		深川市地域ケア会議	深川市
R06.01.12		北空知成年後見相談センター運営協議会	深川市
R06.01.12	R06.01.18	第4回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.01.18		第4回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.01.16		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.01.18		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R06.01.19		地域連携システム等推進会議(北海道自治体病院協議会主催)	札幌市
R06.01.19		北空知介護支援専門員連絡協議会第63回研修会	Web上
R06.01.25		深川市地域ケア会議	深川市
R06.01.26		第171回市町村セミナー(厚労省主催 在宅医療・介護連携推進事業研修)	Web上
R06.01.29		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.02.02	R06.02.06	第6回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.02.06		第6回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.02.07		市立旭川病院地域医療連携の集い	旭川市
R06.02.08		第22回旭川赤十字病院医療連携の集い	旭川市
R06.02.11		医療・介護連携勉強会	Web上
R06.02.16	R06.02.19	第2回正副座長・部会長等会議(きたそらりんく)	Web上
R06.02.19		第2回正副座長・部会長等会議(ZOOM)	Web上
R06.02.16		認知症スキルアップ研修会(16名)	深川市
R06.02.20		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
R06.02.22		深川市地域ケア会議	深川市
R06.02.26		旭川厚生病院地域医療連携の集い	旭川市
R06.02.26		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.03.07	R06.03.12	第2回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上
R06.03.12		第2回 多職種連携・地域啓発部会(ZOOM)	Web上
R06.03.07	R06.03.12	第5回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.03.12		第5回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上
R06.03.07	R06.03.12	第5回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.03.12		第5回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上
R06.03.08		第2回 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議	Web上
R06.03.13	R06.03.18	第2回 医療介護相談・在宅生活支援部会(きたそらりんく)	Web上
R06.03.18		第2回 医療介護相談・在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上
R06.03.13	R06.03.18	第7回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.03.18		第7回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.03.13	R06.03.18	第5回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上
R06.03.18		第5回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上
R06.03.19	R06.03.25	第3回運営会議(きたそらりんく)	Web上
R06.03.25		第3回運営会議(ZOOM)	Web上
R06.03.19		妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町

令和5年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	会議・行事等	場所
R06.03.21		深川市地域ケア会議	深川市
R06.03.21		秩父別町地域ケア会議	秩父別町
R06.03.25		北竜町地域ケア会議	北竜町
R06.03.26		北空知在宅緩和ケア推進研修会	深川市
R06.03.28		医療介護連携会議(みんソラ)	深川市